

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：農商工連携・6次産業化担当

内線：4095

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B14	埼玉農商工連携推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	彩の国農産物地産地消推進費	
事業期間	平成20年度～令和5年度	根拠法令	なし			宣言項目	09 儲かる農業の推進		
						分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立		
1 事業の概要 製造品における食料品の出荷額が全国第2位であるという本県の強みを生かし、農産物の需要拡大や収益性の高い農業経営体を育成するため、県内の農業者と食品関連事業者が商談や情報交換を行い、連携による新たなビジネスチャンスを創出できるよう、マッチング機会の増加を図る。 併せて、県産農産物及び県産農産物を利用した食料品等の販路開拓を図る。 (1) 埼玉農商工連携推進事業 契約差金等による減 △559千円				5 事業説明 (1)事業内容 ア 埼玉農商工連携推進事業 3,135千円 県内の農業者等と食品製造事業者や県内外のバイヤーが連携し、新たなビジネスチャンスを創出できるよう、効果的な商談の場として埼玉県農商工連携フェアを開催する。 年1回 (2)事業計画 ア 事業の目標 展示商談会を開催することにより、農業者と商工事業者とのマッチングの機会を増やすとともに、県産農産物を利用した加工品等の販売を拡大する。 イ 達成水準 商談会出展者数：50事業者 ウ 今後の計画及び事業展開 効果的な商談を進めるためにFCP展示会・商談会シートの活用を進め、より多くの出展者が参加できるように継続して展示商談会を開催する。 (3)事業効果 埼玉県農商工連携フェアを通じた商談件数 3,016件（平成29年度） (4)県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 展示商談会の開催においては、埼玉りそな銀行との連携により最小限の県費支出で開催が可能となっている。 (5)補正予算の概要 埼玉県農商工連携フェア運営等業務委託の契約差金及び事務費の節減による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△559							△559	2,576
現計額	3,135							3,135	